【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公表番号】特表2002-513623(P2002-513623A)
【公表日】平成14年5月14日(2002.5.14)
【出願番号】特願2000-546687(P2000-546687)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　18/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　17/39

【手続補正書】
【提出日】平成18年4月26日(2006.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
双極外科手術器具であって、以下：
近位端および遠位端を有するシャフト；
該シャフトの該遠位端の一対の対向するジョー；
該ジョー上の少なくとも２個の側方に間隔を隔てた細長表面電極；
該ジョー上の少なくとも第１ラインの組織貫通要素であって、ここで、第１ラインの電極が、該ジョーが閉じられる場合に該表面電極間にあるように配列される、組織貫通要素；ならびに
該ジョーを開閉するためのアクチュエーター、
を備える、双極外科手術器具。
【請求項２】
前記組織貫通要素が前記ジョーの表面に関して引き込み可能であり、少なくとも１つの前記ジョーに関して、双極外科手術器具が少なくともいくつかの前記組織貫通電極を選択的に進めるための手段をさらに包含する、請求項１に記載の双極外科手術器具。
【請求項３】
さらに以下： 前記ジョー上の少なくとも第２ラインの組織貫通要素、を備える、請求項１または２に記載の双極外科手術器具。
【請求項４】
前記第１および第２ラインの組織貫通要素が、同一のジョー上にある、請求項３に記載の双極外科手術器具。
【請求項５】
前記第１および第２ラインの組織貫通要素が、別のジョー上にある、請求項３に記載の双極外科手術器具。
【請求項６】
さらに作動可能切開ブレードを備え、該作動可能切開ブレードが、前記第１ラインの組織貫通要素と第２ラインの組織貫通要素との間のラインに沿って切開するように配置される、請求項３に記載の双極外科手術器具。